

The Coca-Cola Foundationによるコミュニティー支援活動



The Coca-Cola Foundationは、コカ・コーラの事業から独立して運営されている慈善部門です。1984年の設立以来、世界中の地域社会に前向きな変化をもたらすための戦略的な助成活動に取り組み、これまでに全世界で累計10億ドル以上の助成金を提供してきました。

2021年、The Coca-Cola Foundationは世界中の約350団体に対し、1億620万ドルを助成しました。今後も地域社会の課題とニーズに耳を傾けながら、特に海洋プラスチックごみ問題の解決や、地域におけるリサイクルの促進、持続可能な水資源管理などのテーマに対し、重点的な助成を継続する予定です。

詳細はこちら(英語)

<https://www.coca-colacompany.com/shared-future/coca-cola-foundation>

2021年度の日本における助成実績



ひとり親家庭の食品支援のため、約15万ドル(約1,600万円)を特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパンに助成

およそ半数が相対的貧困状態と言われ、コロナ禍での収入減少や失業等でさらなる困窮に追い込まれているひとり親家庭に、食品を提供するために使用されます。



COVID-19対策活動支援のため、約130万ドル(約1億4,000万円)を(認定)特定非営利活動法人ジャパンハートに助成

医療関係者へのマスク、ガウンなどの感染防護具提供を含む、COVID-19対策活動に使用されます。



シングルマザーたちの経済的、精神的な問題を解消する活動支援のため、35万ドル(約4,000万円)をNPO法人日本らばい協会に助成

シングルマザーの自立を促すために、群馬県下仁田町に女性村を設立する「ねぎぼうず」プロジェクトに使用されます。



困窮世帯の子どもたちへの文房具支援のため、約13万ドル(約1,500万円)の助成金を認定NPO法人キッズドアに助成

コロナ禍で経済的に困窮している世帯の子どもたちに文房具を提供するために使用されます。



グリーンインフラ活動支援のため、合計46万ドル(約5,300万円)をとくしまコウノトリ基金、雨水まちづくりサポート、雨水市民の会の3団体に助成

3団体はそれぞれ異なる地域で異なる手法を用いてグリーンインフラ活動とその効果検証に取り組み、成功事例を全国へ発信します。